

高萩地区地域まちづくり計画

～みんなで作る
活力ある ふるさと高萩～



平成 27 年 4 月
高萩地区住民自治協議会

【目次】

■高萩地区の概要	
1 地区概観	2
2 歴史概観	2
3 地区の特性	3
■地区の状況	
1 人口・世帯等	4
2 地区人口の推移	4
3 土地利用の状況	5
■高萩地区地域まちづくり計画の役割	5
1 策定及び見直しの経過	5
2 計画の役割	6
3 計画の推進体制	6
■まちづくりについての住民の声	7
■地区の課題等	9
■分野別の事業推進	11
1 環境・産業	11
2 生活・防災・防犯	13
3 健康・福祉	14
4 教育・文化	16
5 地域コミュニティ	17
— 資料編 —	
● 地域カレンダー	20
● 地域資源の位置図	22
● まちづくり市民アンケートについて	24
● 高萩地区住民自治協議会役員・委員	25
● 平成24年度～26年度までの事業実施状況	26

■高萩地区の概要

1. 地区概観

本地区は香取市の中央よりやや南側に位置し、北は旧佐原市、旧小見川町、東及び南は旧山田町、西は旧栗源小学区に接しており、海拔は約14メートル（支川栗山川沿いの水田）から約42メートル（中峰の台地）となっています。面積は、約8平方キロメートルです。

地区の大部分は北総台地の一角をなす台地ですが、地区の中央には栗山川の源流の一つが西流しており、これに沿って谷津田が形成されています。地域の西側から北に向かって県道成田小見川鹿島港線が、南端を東総有料道路が走っており、東総有料道路には、首都圏に直結する高速バス停や高萩パーキングがあります。地域の中央にある平成の森は、地域住民の憩いの場として、さらなる活用が求められています。

台地ではサツマイモや落花生の栽培をはじめ、ブドウなどの果樹栽培も行われ、酪農、養豚といった畜産業も盛んです。

台地は、古くは良馬を産出する牧で源頼朝の愛馬「するすみ」を産出したとも伝えられており、農地として開発された明治から昭和にかけては、養蚕、桑苗の生産が盛んに行われました。

高萩区の薬王院では、毎年8月23日に「御三夜（おさんや）」という地蔵祭りが行われ、かつては賑わいました。旧高萩小学校は、平成20年度をもって廃校となっています。

2. 歴史概観

上の台の畑では、古代人が狩猟に使ったと思われる石器の矢尻が発見されることがあること、深山台では、縄文式土器や土師器の破片が出土していることから、本地区には古くから人が住んでいたことがわかります。本地区は、平安時代初期には葛原（ツナハラ）親王（桓武天皇の御子）の荘園となりましたが、このころには台地は馬牧となっていたものと思われます。平安時代末期には、このあたりは千田庄の一部を占めていたとされ、中世（鎌倉、室町時代）には千葉氏の勢力圏にあり、近世（江戸時代）にかけて、領主も千葉氏から国分氏、鳥居氏というように変わっていきました。台地は江戸時代には幕府牧の一つである油田牧の範囲に含まれており、現在もその野馬土手が部分的に残されています。

江戸時代に入ると、村高制により村が一つの行政単位となって、苧毛村、（西）田部村、岩部村、荒北村、沢村ともに、高萩村ができました（助沢村は、1680年代に岩部村より独立してできました）。江戸時代、高萩村は急速に開拓が進みました。

明治新政府になり明治22年、上記7村が合併し栗源村（大正13年から栗源町）が誕生しました。

明治20年から30年代にかけては高萩原（上の台、受所、中峰）の開拓が行われ、昭和にかけて桑苗の生産、養蚕業が盛んに行われました。

太平洋戦争下の昭和17年に部落会制度ができて、高萩村を分けて高萩本区、受所、上の台、中峰の4部落としました。昭和44年には部落から区と改称され、町の組織として

位置づけられました。

※主な出典は「栗源町史」による。

(資料) ■ 寺社等一覧 (出典：栗源町史) () カッコ内は創建年

地区	神社	寺院	備考
高萩	熊野神社 (1338 年) 三峰神社 (1868 年) 天神宮	不動院薬王寺 (1570～80 年代) 妙光山本興寺 (1650 年代)	御三夜 (薬王院)
受所	受所神社 (1923 年)		
上の台	上の台神社 (1955 年)		
中峰	中峰神社 (1907 年)		

3. 地区の特性

高萩地区を特徴づける自然や歴史、文化・慣習などの資源には、さまざまなものがあり、活動にあたってはこれらを有効に活用することが大切です。

主なものを分野別に整理すると次のようになります。

※ 役員会ワークショップから

自然	歴史	文化・慣習	公共施設等	産業・生活・その他
ホタル (平成の森付近)	各地区寺社 (前掲のとおり) 向霊園 (高萩) 西野霊園 (高萩) 上の台墓地 中峰墓地 野馬土手 (受所) 道ろく神 (高萩)	高萩の神楽 おびしゃ (高萩、受所、上の台、中峰) 御三夜 (高萩)、下座 (中峰芸座保存会)	高萩青年館 各区民センター (受所、上の台、中峰) 平成の森 (上の台) 高萩高速バス停 高萩パーキング	養豚 (受所、上の台) 酪農 (高萩、中峰) 下河辺牧場 ぶどう園 (高萩、受所、中峰) なし園 (受所) かんそう芋 (中峰) 養蚕 (中峰) 落花生 (高萩、受所) ミレニアムシティ (上の台) いきいきの家 (高萩) ふれあいサロン (高萩)

■地区の状況

1. 人口・世帯等

平成26年4月1日現在

(人)

	男	女	計	世帯数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
香取市	40,318	41,329	81,647	30,239	8,579	48,362	24,706
割合(%)					10.50	59.23	30.26

平成26年4月1日現在

(人)

	男	女	計	世帯数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
高萩	259	234	493	173	48	276	169
受所	125	119	244	78	20	157	67
上の台	195	186	381	126	40	221	120
中峰	179	156	335	112	27	186	122
計	758	695	1453	489	135	840	478
割合(%)					9.29	57.81	32.89

2. 地区人口の推移

各年4月1日現在

(人)

		平成2年	平成22年	平成26年	増減(人)	増減(%)
全 体 人 口	高萩	591	529	493	▲36	▲7.3
	受所	315	253	244	▲9	▲3.7
	上の台	435	403	381	▲22	▲5.8
	中峰	397	369	335	▲34	10.1
計		1,738	1,554	1,453	▲101	▲7.0
15 歳 未 満	高萩	90	54	48	▲6	▲12.5
	受所	69	17	20	3	15.0
	上の台	71	39	40	1	2.5
	中峰	61	25	27	2	7.4
計		291	135	135	0	0
65 歳 以 上	高萩	112	163	169	6	3.6
	受所	48	69	67	▲2	▲3.0
	上の台	82	125	120	▲5	▲4.2
	中峰	62	117	122	5	4.1
計		304	474	478	4	0.1

3. 土地利用の状況（平成 23 年度 計画策定時資料）

単位（面積：千㎡、割合：％）

	香取市		高萩 ・高萩 ・受所 ・上の台 ・中峰	
	面積	割合	面積	割合
宅地	20,762	7.92	537	6.74
田	82,565	31.48	436	5.48
畑	39,899	15.21	4,514	56.71
山林	49,048	18.70	1,618	20.33
原野	3,115	1.19	147	1.85
池沼	1,561	0.59	25	0.31
牧場	629	0.24	98	1.23
雑種地	13,095	4.99	308	3.87
その他	51,632	19.68	277	3.48
計	262,306	100.00	7,960	100.00

■高萩地区地域まちづくり計画の役割

高萩地区住民自治協議会では、少子高齢化、人口減少などによるさまざまな地域課題を見据えながら、「いつまでも住み続けたい」とだれもが思えるようなより良い地域づくり、愛着を持てるふるさとづくりを進めるために、「みんなで作る 活力ある ふるさと高萩」を活動の基本理念（スローガン）として掲げました。

「高萩地区地域まちづくり計画」は、この基本理念のもとに、現状や取り組みの方針、活動事業等を分野別に取りまとめたもので、私たちが活動を実践していくための指針となるものです。

活動の基本理念

みんなで作る 活力ある ふるさと高萩

1. 策定及び見直しの経過

平成 23 年 11 月 29 日 高萩地区住民自治協議会設立

12 月 13 日 第 1 回役員会

・まちづくり市民アンケートについて協議

- ・地域の特性、課題の把握（ワークショップ）
- 12月29日 住民・団体アンケート実施（～1月13日）
- 平成24年 2月23日 第2回役員会
 - ・アンケート集計結果の報告
 - ・地域の将来像、事業計画等の検討
- 3月22日 第3回役員会
 - ・地域まちづくり計画（案）の協議、決定
- 4月25日 高萩地区住民自治協議会総会
 - ・地域まちづくり計画の決定

- 平成26年 10月14日 第2回役員会
 - ・地域まちづくり計画の見直しについて説明
- 平成27年 2月3日 四役会議
 - ・地域まちづくり計画見直しの検討
- 平成27年 3月13日 第3回役員会
 - ・地域まちづくり計画の一部見直し（案）の協議、決定
- 平成27年 4月23日 高萩地区住民自治協議会総会
 - ・地域まちづくり計画の一部見直しの決定

2. 計画の役割

高萩地区地域まちづくり計画は、高萩地区住民自治協議会が一丸となって取り組む目標や活動などを定めたものです。

この計画に基づき、年度ごとに事業計画書を作成し事業を実施します。

なお、地域の状況や地域を取り巻くさまざまな環境、社会情勢の変化に適切に対応するため、必要に応じて見直しの検討を行うこととします。

3. 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、区をはじめ各種団体が、得意とする活動分野ごとに部会を組織したり、実施する事業に応じて実行委員会を設置する等によって、その実効性を高めます。また、実施した事業については、評価、検証を行い、見直し、改善に努めることとします。

※ 地区の主な活動団体及び分野の例（平成23年度のアンケートから）

環境・産業	生活・防災・ 防犯	健康・福祉	教育・文化・ 交流	地域コミュニ ティ
自治会（区）・栗源中学校、栗源小学校、栗中PTA、栗小PTA				
・平成の森を愛する会 ・高齢者クラブ（高	・消防団 3-1部（高萩） 3-2部（中峰）	・民生委員児童委員 ・母子福祉協力員 ・母子保健推進員	・青少年相談員 ・体育協会 ・スポーツ推進委員	・高齢者クラブ（高萩、中峰、上の台） ・高萩地区社会福

萩、中峰、上の台)	3-3部(上の台) 3-4部(受所) ・交通安全協会	・高萩地区社会福祉協議会 ・高齢者クラブ(高萩、中峰、上の台)	・語るべえ栗源 ・子ども会(高萩、受所、上の台、中峰)	祉協議会
-----------	----------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	------

■まちづくりについての住民の声

平成23年12月から24年1月かけて、区長をはじめ地区の役員の方々の協力を得て配布・回収したまちづくり市民アンケートは、591人の方々から回答をいただきました。1世帯当たり1.2人、地区の39%の方々に回答していただいたこととなります。

このアンケートの集計結果から、皆さんが地区や地域活動をどのように考え、感じているのかを見ると、次のようになりました。(数値は小数点以下を四捨五入しています。)

◇8割以上が「地区に愛着ある」

地区の愛着については、「強い愛着を感じる」が25%、「ある程度愛着を感じる」が59%で、合わせると84%になりました。

皆さんの思いを合わせることができれば、大きなまちづくりの力になると考えられます。

◇魅力は「自然が豊か」で「犯罪が少ない」

地区の良いところについては、「自然が豊か」が65%、「犯罪が少ない」が37%、「人情がある」が28%でした。

豊かな自然の中で、人々のつながりがあって心安らかな平穏な暮らしぶりがあることがわかります。

◇住みづらい点は「交通・買い物が不便」

一方で、住みづらいと感じるところは、「交通の便が良くない」が46%、「買い物に不便である」が46%、「老後の生活が不安である」が27%、「魅力ある働く場が少ない」が20%でした。

公共交通が十分でないこと、商店、特に生鮮食品を扱う商店が少ないことなどが影響しているようです。日々の生活という面では、厳しい状況があることがわかります。

◇6割以上が「地域活動に関心ある」

地域活動に対する関心については、「非常に関心がある」が5%、「ある程度関心がある」が56%で、合わせて61%になりました。

地区の2/3の皆さんが、地域活動に関心があることがわかります。

◇活動は「年に1～2回」

地域活動への参加状況については、「年に1～2回」が27%、「半年に1～2回」が19%、「2～3ヶ月に1～2回」が13%でした。

これは、地域活動には関心はあるものの、参加の機会がそれほど多くないことが影響し

ているものと思われます。(例えば自治会以外に活動の場がなければ、5月のごみゼロ運動と夏の道刈り程度の参加になり、年2回程度の参加になるなど。)

◇活動は主に「自治会」活動に参加

地域活動に参加する場合のグループについては、「自治会で」が40%、以下、「個人で」が14%、「高齢者クラブで」が12%と続きました。

個人で活動に参加するとした回答が比較的多く、自主的に参加していることが窺えることが特徴になっているようです。

◇「身近な人と一緒」や「自分の都合」でできれば参加する

地域活動に参加する場合の条件としては、「友人や地域の人等、身近な人と一緒に参加できる」が53%、「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が45%、以下、「簡単に参加できる」が28%、「趣味や特技を生かせる」が17%と続きました。

あいた時間に簡単に参加できれば、多くの参加が期待できることがわかります。また、自分の趣味や特技を生かせるような活動をつくっていくことも求められていると思われます。

◇「清掃活動」や「美化活動」、「地域ふれあい行事」に参加を希望

参加したい活動の内容については、「道路や公園などの地域の清掃活動」が19%、「お年寄りのお世話や生きがい対策などの地域の福祉活動」が16%、以下「ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動」が15%、「まちに緑や花を増やす美化活動」が13%と続きました。

美しい環境のもとで、楽しく触れ合いたい、お年寄りを大切にしながらみんなで助け合おうという、皆さんの思いが伝わります。



■地区の課題等

アンケート調査や計画策定を行う役員会では、地域の課題や事業提案として、さまざまな意見が出ました。その中で主なものを分野別に整理すると次のようになります。

これからのまちづくりにおいては、これらの課題の解決に向けた事業を展開していく必要があります。

分野	主な課題等
環境 ・ 産業	道路の草刈り、枝払い、道普請
	畑土の道路への堆積
	耕作放棄農地
	川刈り
	寺、墓地の草刈り
	害虫駆除（ハチ等）
	ごみの不法投棄
	環境美化（ゴミ拾い）
	ごみステーションの増設
	◆ごみの出し方（指定袋等ルールが守られない）
	◆悪臭（家庭ゴミの野焼き、家畜等）
	◆ペットの飼い方
	◆企業誘致
	◆農業振興（若者が意欲的に取り組める対策）
生活 ・ 防災 ・ 防犯	防災対策（防災体制の見直し、災害に強い地域づくり等）
	消防団員の確保
	防犯対策（街路灯の設置等）
	買い物が不便
	交通対策（交通手段の確保等）
	◆交通安全（速度超過車対策、大型車規制）
	◆結婚問題（婚活、知り合う機会がない）
	◆定住促進
	◆過疎化対策
	◆少子高齢化問題
	◆就職先がない
	◆郵便ポストの設置
	◆道路整備
	◆冬の凍結道路対策

	◆歩道整備
	◆排水整備
健康 ・ 福祉	独居世帯の問題
	買い物難民対策
	高齢者の交通手段の確保
	福祉の充実
	健康づくり
	高齢者クラブ会員の減少
	◆介護・医療の充実
◆健診の充実	
教育 ・ 文化	近所に遊び友達がいない（送迎付きでないと遊べない）
	少子化により子ども会活動の存続が危惧される
	子ども会育成予算の確保
	青少年育成
	P T A活動（少子化により負担が大きい）
	読み聞かせの参加者が少ない（P R 不足）
学校賛助会費（地区の負担）	
地域 コミュニティ ・ その他	人間関係が希薄化
	地域交流
	情報の共有
	ボランティアの活用（高齢者を活用、希望者を募集、公務員の積極的な参加等）
	地域コミュニティの充実
	地域行事の見直し（負担感）
	慣例の見直し
	女性たちが顔を合わせる機会がない
	女性の意見を反映させる工夫
	◆高萩青年館の改築

注) ◆印の課題等は、地域だけでは解決が困難なもの。

■ 分野別の事業推進

課題解決に取り組むため、分野別に、取り組みの目標、現状、展開する活動などを示します。

1 環境・産業

取り組みの目標

豊かな自然を大切にした 住み良い環境づくり

【現状】

道路沿いの草刈りや交通障害となる木の枝の伐採、道路に堆積した土砂の撤去、野焼きによる悪臭、スズメ蜂などの害虫駆除、ごみ出しマナーなど日常生活に関する課題が多く寄せられています。また、高齢化により地区の環境活動の継続を心配する声もあります。

畑作が盛んな地域であるため、水田の耕作放棄地が目立ちます。

項目名	事業・内容・主体等	時期
道路・水路等の環境整備活動	道路・水路等の環境を整備することによって、道路・水路等の愛護と環境保全の精神を養い、住み良い地域づくり活動を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路・水路等の草刈り ・交通障害となる樹木や枝の伐採 ・道路に堆積した土砂の撤去 等 <p>【区、地域住民、等】</p>	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
不法投棄防止 & 清掃パトロール事業	各地区のごみ捨ての多発箇所等を把握し、定期的にパトロールと清掃を実施するとともに、不法投棄防止の啓発を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ捨て多発箇所の把握→マップづくり ・ごみゼロ運動に合わせた不法投棄箇所の点検など ・パトロール隊の組織（駐在や不法投棄監視員との連携） ・ごみステーションの場所の見直し・増設 等 <p>【区、ボランティア団体、地域住民 等】</p>	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中

家庭ごみ等の焼却防止活動	家庭ごみ等の焼却による悪臭等対策のため、市の協力のもとチラシ等を作成し地域内の各戸へ配付するなど、家庭ごみ等焼却による迷惑防止活動を展開する。 【区、地域住民 等】	短期 継続
休耕地活用の検討	荒れた休耕農地（田・畑）の有効活用について検討する。 【土地改良団体、実行組合、水利組合、ボランティア団体、地域住民 等】	中期 継続

※ 短期とは、概ね3～5年後を目安に取り組むもの。中期とは、概ね6～7年後、長期とは、概ね8～10年後程度を目安に取り組むもの。



2 生活・防災・防犯

取り組みの目標

みんなの暮らしを みんなで守る地域づくり

【現状】

震災の影響から、地域の防災体制を見直そうといった機運が高まっています。一方で、少子化等の影響により消防団員の確保が難しくなっています。

生活排水の問題や地域公共交通の不便さに対する不満が多くあります。

過疎化や独身者の結婚問題なども心配しています。

その他、防犯灯の増設や道路の整備・管理、歩道の整備、交通安全対策なども課題となっています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
千五百の風 (友人送迎システム)	アンケート調査によれば、高萩地区は田舎であるが故に通院や買い物等が不便と感じている住民が多いことから、ボランティアによる移動手段を確保し、暮らしやすい地域づくりの構築を図る。 【住民自治協議会役員、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
防災対策	3.11 東日本大震災を教訓に、地域住民が災害に備え、防災組織等の体制を整備し、災害に強い地域づくりの構築を図る。 ・ 防災訓練 ・ 水、食料等の備蓄 ・ 防災マニュアルの作成 ・ 防災マップの作成 (危険な場所や高齢者世帯等の把握) 等  【区、消防団等各種団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
防犯対策	振り込め詐欺などの被害防止のため、警察等に協力をお願いし、講習会等を開催する。 【区、高齢者クラブ、各種団体、地域住民 等】	短期 継続

3 健康・福祉

取り組みの目標

思いやりのある 心温まる 元気の里づくり

【現状】

旧高萩小学校区の65歳以上の高齢化率は、市の30.26%を上回る32.89%（平成26年4月1日時点）であり、今後は更に高齢化が進むものと思われます。

特に問題は、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加していることで、近くにはお店もなく、公共交通も不便なことから、買い物や通院などに大変困っています。

高齢者の買い物対策や交通手段の確保、健康づくり、地域福祉の充実に向けた取り組みが求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
生活サポートチケット制度	一人暮らし高齢者等の生活を支援するため、チケットを配り、そのチケットを買い物や通院等の支援の対価として支払えるような制度の構築を検討する。 【ボランティア 等】	中期
健康ウォーキング	健康維持を目的として、子供から高齢者まで楽しみながら参加できる、高萩地域内のウォーキングを活動として展開する。  【区、高齢者クラブ、子ども会、青少年相談員、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成24年度から 事業継続中
高齢者ふれあいサロン	現在、高萩区で実施しているふれあいサロン（日中一人暮らし高齢者を対象としたつどい）を、旧高萩小学区の4地区に拡大し、多くの高齢者が参加できるように、住民自治協議会事業として活動を展開する。 【区、地区社協、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続

<p>高齢者見守り事業</p>	<p>地域内の家族状況を調査し、日中独居や一人暮らし高齢者の安否確認を行う。また、可能な範囲で、話し相手等の支援を行う。</p> <div data-bbox="842 297 1153 600" data-label="Image"> </div> <p>【民生児童委員、ボランティア団体、地域住民 等】</p>	<p>短期 継続</p> <p>平成 24 年度から 事業継続中</p>
<p>高萩休日</p>	<p>年 1 回地区全体を共通の休日とし、任意の集まりを中核として心身共に休養日とする。</p> <p>【地域住民 等】</p>	<p>中期 継続</p>



4 教育・文化



取り組みの目標

ふる里に誇りを持てる郷土愛づくりと
伝統・文化の継承

【現状】

地域では、おびしゃや高萩の御三夜祭、神楽、中峰の下座（中峰芸座保存会）など、昔からの伝統行事や伝統芸能等が大切に継承されてきました。負担感の軽減を図りながら、今後もこの文化を後世に継承していくことが必要です。

子供の減少により、近所に遊び友達がおらず、車で送迎しないと遊ぶことができない状況です。また、子ども会やPTA活動などにも支障が出てきていることから、地域での支援が求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
伝統芸能等継承活動	地域の伝統芸能、伝統行事の保存と継承を目的とし、伝統行事の映像記録化や下座体験教室等を企画する。 【保存会、地域住民 等】	短期 継続 平成 26 年度から 事業継続中
方言の保存活動	急速に廃れ行く方言を保存し、後世に残す活動を展開する。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 平成 24 年度 事業実施
伝統的建築物等保存活動	室町時代から続く伝統ある建築物等、地域の文化財が荒廃しているため、保存活動を行い、次世代へ継承していく。 【ボランティア団体、地域住民、 等】	中期 継続
児童・生徒の活動支援	児童、生徒数の減少により、青少年の各種活動に支障をきたしていることから、地域で活動を支援する。 【区、小・中学校PTA、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
勉強会の開催	高萩地区にかかわる諸問題について、広く勉強会を開催する。 【地区住民、ボランティア 等】	短期 継続

5 地域コミュニティ

取り組みの目標

みんなで育む 地域の力 地域の融和

【現状】

市町村合併や小学校の統合等により、地域交流が減少し地域に活気がなくなると皆さんが感じていることから、地域交流事業の開催を望んでいます。

しかし、一方で、地区人口の減少や高齢化により、地区役員や行事等に対する負担感があります。

地区の行事には、女性が参加できないので、夫婦で参加できる行事を望む声や女性の意見を反映させる工夫をしてほしいといった要望もあります。

その他、地域の情報不足や慣例の見直し、結婚問題、ボランティア組織の育成などが課題となっています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
地域交流イベントの開催	子供から高齢者まで地域住民が一堂に会し、交流と連帯感、絆を深めるイベントを開催する。 ・豊作を喜び合う秋祭り（収穫祭） ・芋煮会 ・盆踊り大会 ・カラオケ大会 など 【区、地区社協、各種団体、地域住民、ボランティア 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
高萩地区市民スポーツ大会	子供から高齢者まで楽しめるグランドゴルフ大会や軽スポーツ大会等を企画し、地域住民の交流と絆を深める。 【区、各種団体、地域住民 等】	短期 継続
高萩地区住民センターの設置（地区の事業拠点を整備）	高度な住民自治を実現するため、各種事業や地区に関わる情報発信等の拠点として住民センターの整備を図る。 【住民自治協議会、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
広報お知らせ	活動の周知PRや身近な情報を伝えるため、広報紙やチラシ等により広報を行う。 【区、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中

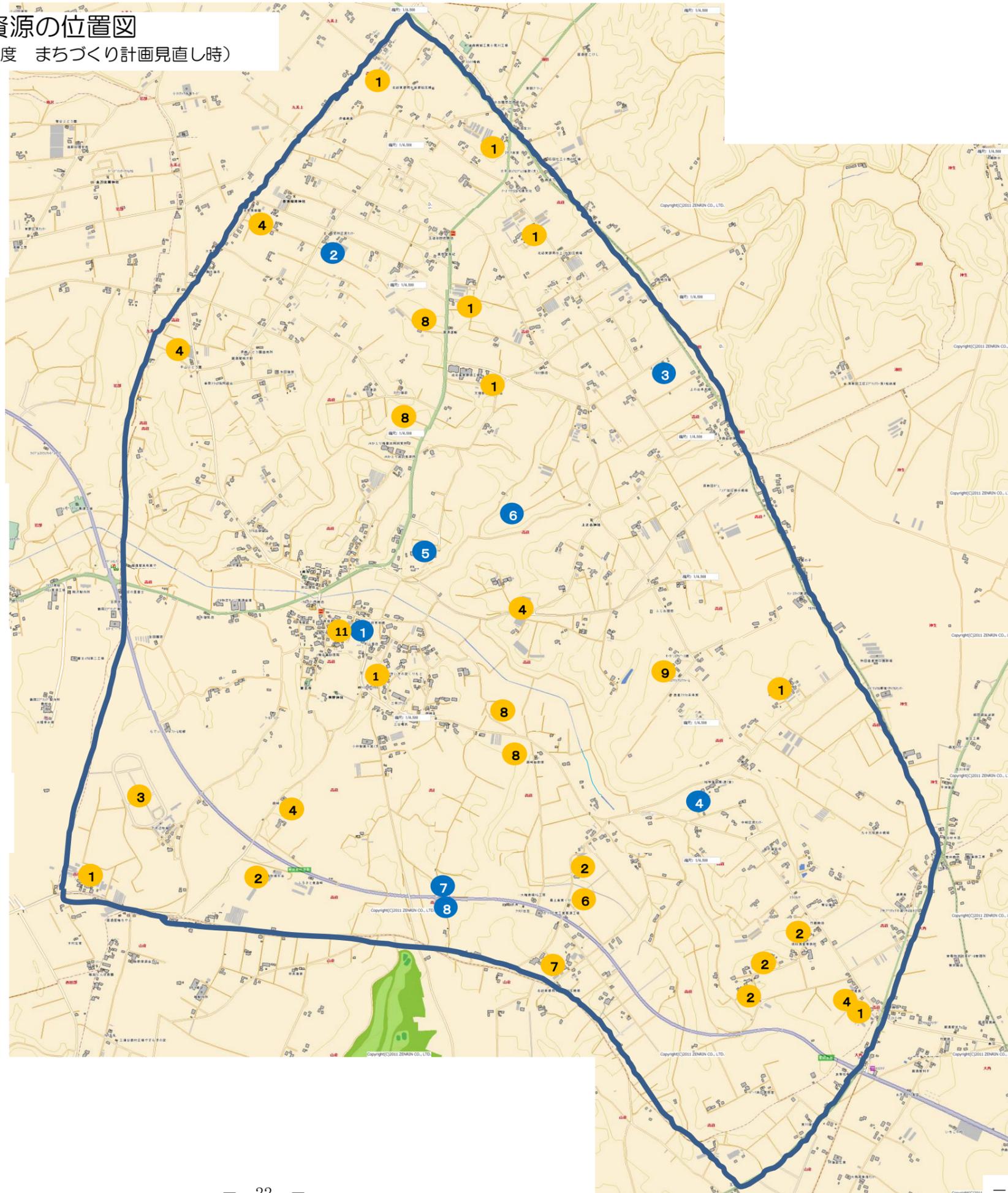
ホームページ等による広報活動	地域活動のPR、住民同士の交流・情報交換等を図るため、ホームページを開設する。また、活動や各種行事等のDVDを作成し、配布する。 【地区住民、ボランティア 等】	短期 継続
Eメールによる情報配信事業	訃報等、即時性が期待される情報の発信、住民同士の交流・情報交換の一助として、希望者にEメール（インターネットメール、携帯電話メール）により、情報を発信する。 【地区住民、ボランティア 等】	中期 継続
高萩地区紹介映像資料の作成、配布	地元長老も見たことがないような地元の一面を含めて、高萩地区を紹介する内容を映像化、配布することにより、郷土愛を醸成する。 【区、地区住民、ボランティア 等】	短期 継続



資料編

●地域資源の位置図

(平成26年度 まちづくり計画見直し時)



※地域の特性から抜粋

公共施設等（青色）

- ①高萩青年館
- ②受所区民センター
- ③上の台区民センター
- ④中峰区民センター
- ⑤高萩福祉センター（旧高萩小学校）
- ⑥平成の森
- ⑦高萩高速バス停
- ⑧高萩パーキング

産業・観光・生活（オレンジ色）

- ①養豚
- ②酪農
- ③下河辺牧場
- ④ぶどう園
- ⑤梨園
- ⑥乾燥芋
- ⑦養蚕（中峰）
- ⑧落花生（高萩、受所）
- ⑨ミレニアムシティ（上の台）
- ⑩いきいきの家（高萩）
- ⑪ふれあいサロン（高萩）